

OASIS 28(2)2018
[No.103 September 2018]

News and Communications of
The Japanese Association for
Arid Land Studies

おあしす

モロンダバ（マダガスカル）のバオバブ



大きなバオバブの根元の樹皮がはがされてしまっています。



有名なバオバブ街道の巨大なバオバブたちです。夕陽を背景にきれいなシルエットが撮れました。
(写真提供：吉川賢)



バオバブの根元からはいだ樹皮で屋根を葺いてある焼き畑農民の家屋です。



小さなバオバブです。



少し大きくなったバオバブです。幹は上に行くほどスリムになっています。



だいぶ大きくなったバオバブです。大きくなっている間は枝がたくさん付いています。



ほぼ成熟したバオバブです。寸胴になって、枝が横に張り始めています。

2018 年 日本沙漠学会 秋季シンポジウムのお知らせ

乾燥、半乾燥地における沙漠化の進行は、気候の要因のみならず人間活動により加速しています。加えて様々な気候下において土地は人間活動による劣化により荒廃が進んでいます。本シンポジウムでは植物栽培により沙漠化・土地荒廃の進行を妨げ、修復・回復を目指すために必要とされる植物の特性とは何か、また栽培しながら農業として成り立つ形質は何か、環境修復の実際の取り組みについて3名の研究者を招いて話題提供をいただき、パネルディスカッションで参加者の皆さんと忌憚のない意見交換と議論を目的として開催いたします。

日 時：2018 年 10 月 27 日（土）14：00～17：00

場 所：鹿児島大学 農学部 農・獣医共通教育棟 307 講義室

鹿児島市郡元 1-21-24 （郡元キャンパス）

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

<http://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/contact/index.html>

テーマ：沙漠化・土地荒廃環境修復のために必要な植物の特質

プログラム：

14：00～14：10 開会挨拶および主旨説明

14：10～15：40 話題提供

演目と講演者

「作物の根の可塑性と機能（仮題）」

下田代智英 氏（鹿児島大学 農学部准教授）

「塩生植物，耐塩性植物の特質と農業的環境修復」

志水勝好 氏（鹿児島大学 農学部教授）

「重金属や有機化学物質の植物への集積特性と，環境修復への適用」

石川祐一 氏（秋田県立大学 生物資源科学部准教授）

司会 遠城道雄 氏（鹿児島大学農学部教授）

15：40～16：00 休憩

16：00～16：50 パネルディスカッション

16：50～17：00 総括

問い合わせ先：鹿児島大学 農学部 志水勝好 shimizuk@agri.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島空港から鹿児島中央駅までのリムジンバスは下記の通りです（所要時間約 40 分）。

<https://www.iwasaki-corp.com/wp-content/uploads/22b259fca70d9e10cef7514b9280cada.pdf>

鹿児島中央駅から「鹿大正門前」までは、バスで 5 分程度です。

鹿児島中央駅から市電郡元（こおりもと）行きで「市民病院」または「神田・交通局前」で下車、約 10 分、桜島に向かって歩いていただいて農場西門から入校、徒歩 5 分程度です。

中央駅前の乗り場：http://kotsu-navi.pref.kagoshima.jp/img/maps/map1_1-jp.pdf

農学部施設配置図：<http://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/contact/c3.gif>

講演会のご案内

日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長
石川 祐一

乾燥地農学分科会では、下記のとおり講演会を開催いたします。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 主催：日本沙漠学会乾燥地農学分科会
- 日時：2018年12月3日（月曜日）13：00～17：30（受付12：30～）
- 会場：東京大学農学部（弥生キャンパス）フードサイエンス棟（旧4号館）中島董一郎記念ホール
（URL：<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/overview.html>）
- 開催趣旨：

日本沙漠学会乾燥地農学分科会では、毎年乾燥地農学に関する講演会を開催している。沙漠に代表される乾燥地は「見渡す限り砂しか見えない荒涼とした場所」という印象ではないだろうか。このような砂漠は乾燥地の中でも限られた場所であり、多くの乾燥地・半乾燥地では少ない水を利用した草地や灌木林に代表される生態系が構築されている。熱帯や温帯と比較すると限定的ではあるものの乾燥地・半乾燥地においても多様な生物が生きている。また、そこで暮らす人々はその限られた多様性を利用した生活を営んでいる。利用される生物資源の中には日本でもなじみの深いものもあれば珍しいものもある。それぞれの生物の生態や利用法を知り、日本との関わりを考えることで沙漠の新たな一面を知ることができるのではないだろうか。そういう観点から沙漠に関係の深い植物や昆虫の専門家を講師に招き、沙漠の生物多様性を我々の食資源の観点から論ずる機会にしたいと考えている。皆様のご参加をお待ちしています。

沙漠の生物多様性

講演会次第

- | | |
|---------------|--|
| ★ 12：30～ | 受付 |
| ★ 13：00～13：05 | 開会の辞：吉川 賢氏（日本沙漠学会会長） |
| ★ 13：05～13：50 | 講師：鈴木俊久氏（日清オイリオグループ株式会社 中央研究所 上級主席） |
| ★ 13：50～14：35 | 講師：石山 俊氏（国立民族学博物館 プロジェクト研究員） |
| ★ 14：45～15：30 | 講師：田淵俊人氏（玉川大学農学部 先端食農学科 専任教授） |
| ★ 15：30～16：15 | 講師：手代木功基氏（摂南大学外国語学部 講師 / 京都大学アフリカ地域研究資料センター 特任講師） |
| ★ 16：25～17：25 | 全体討論
モデレーター：石川祐一氏（秋田県立大学 准教授、分科会会長）
パネラー：鈴木俊久氏、石山俊氏、田淵俊人氏、手代木功基氏 |
| ★ 17：25～17：30 | 閉会の辞：石川祐一氏（分科会会長） |

※ 14：35～14：45 ブレイクタイム

●参加費 無料（資料代1,000円）

電子メールまたはFAXで、①氏名、②TEL、③FAX、④E-mail、⑤所属をご記入の上、事務局宛にまでお送りください。

なお、当日の参加も可能です。

[申込先]事務局：(株)アースアンドヒューマンコーポレーション（担当：深井）

FAX：018-872-1677 E-mail owner-cadal@ijinet.or.jp

【URL】 <http://www.jaals.net/>

■懇親会（3,000円程度を予定）

18：00～19：30 講演会終了後、懇親会を予定しております。是非ご参加ください。

2018 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 吉川 賢
学会賞審査委員会委員長 豊田裕道

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞、学術論文賞、進歩賞、奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的、実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は、原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお、35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には、その理由書を添付する。

2. 推薦期限 2019 年 2 月 28 日（木） 当日消印有効

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお、推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合

様式 1 の推薦書 1 部

推薦に関する資料 1 組

- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合

様式 2 の推薦書 1 部

推薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

〒 010-0041 秋田市広面字土手下 81-1-202

日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 渡邊三津子

E-mail: watanabe.m415@gmail.com

5. その他

応募された書類は返却しませんので、必要な場合は写しを保管下さい。

なお、過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ（<http://www.jaals.net/>）をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属： 氏名： 印 住所・電話：
2. 被推薦者 所属： 氏名： 生年 年 月 日 住所・電話： 入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属： 氏名： 印 住所・電話：
2. 被推薦者 所属： 氏名： 生年 年 月 日 住所・電話： 入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど
著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

記入上の注意

- 1) 書 式 A4 縦置横書き, 明朝体 12 ポイント, 上下左右マージン 2.0 cm 以上, 1 行文字数 35~40 字, 1 ページ行数 35~40 行
 - 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
 - 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
 - 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合
 - 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合
5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー可）を添付して下さい。

学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 豊田 裕道
渡邊 三津子

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

**日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！**

**学術大会で発表した人は、ぜひ
沙漠研究に論文を投稿しましょう！**

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

日本沙漠学会 2019 年 第 30 回学術大会および 30 年記念式典のお知らせ（第一報）

1. 大会概要

日時：2019 年 5 月 25 日（土）～ 26 日（日）

場所：東京農業大学世田谷キャンパス

〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

アクセス <https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

2. 問い合わせ

第 30 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 鈴木 伸治

TEL：03-5477-2351 E-mail：jaals-30@nodai.ac.jp

[委員長] 渡邊 文雄（東京農業大学）

詳細が決まり次第、ホームページ <https://www.jaals.net/> および次号おしす（28 巻 3 号）にてアナウンスいたします。



「海岸沙漠」

（イラスト：秋田公立美術大学・上江洲里美）

学会記事

日本沙漠学会第 136 回理事会 議事録

日 時：2018 年 8 月 1 日（水）14：30～17：00

場 所：新川区民館（東京都中央区）

出 席：吉川 賢（会長）、渡邊文雄、森尾貴広（以上、副会長）、窪田順平、小島紀徳、酒井裕司、島田沢彦、鈴木伸治、渡邊三津子（以上、理事）、安部征雄（顧問）、矢沢勇樹、田中 徹（以上、監事）、川端良子（編集委員）、田島 淳（沙漠工学分科会長）、三角誠司、齋藤哲治（以上、事務局）

委任状：小長谷有紀、豊田裕道、高橋新平、中村 徹（以上、理事）

I. 審議事項

1. 未未納の会員の対応

- ・現状の年会費未納会員について報告がなされた。
- ・該当会員にメールにて督促し、その状況によって次の対応について検討することとした。

2. DTXII の減額交渉

- ・2015 年にエジプトにて開催された DTXII の経費の内、エジプトから出版代として支払われるべき 524,880 円が未納となっている問題について、エジプト側より、1,000 ドルを限度として検討したいとの申出があった旨、吉川会長より説明がなされた。
- ・交渉を続けるとともに、来年度の総会で経緯及び結果を報告する。また IDC (International Desert Council) と情報共有することとした。

3. 倫理規定の策定について

- ・倫理規定の素案が提示され審議が行われた。
- ・修正・追記事項等の指摘がされ修正を行うことが確認された。
- ・行動規範および学会誌倫理規定については総会での審議事項、倫理委員会内規については評議員会及び総会での報告事項となる。

4. 会員数減少への対策についての検討

- ・森尾副会長より、会員数減少の基本的傾向と考えられる施策案が提示された。今後検討を続ける。

5. 2019 年秋季シンポジウムについて

- ・沙漠誌分科会より、「アラビア半島オアシス生活 50 年の持続と変容」(案) と題したシンポジウムの提案があり、承認された。

II. 報告事項

1. 投稿論文審査状況報告

- ・酒井編集委員長より、投稿論文審査状況について報告がなされた。
- ・また、拡大編集委員会の実施 (5/24、石巻グランド

ホテル)、学会誌投稿規定改訂版と編集事務局情報及び学会誌の編集業務変更についての学会 HP への掲載、「沙漠研究」Vol. 28-1 の J-STAGE 掲載と学会員へのメール案内の配信、学会誌倫理規定案の作成、について報告がなされた。

2. 「おあしす」の内容確認

- ・島田総務担当理事より 28 巻 1 号の掲載内容の確認が行われた。

3. 第 29 回学術大会 (石巻専修大、5/26～5/27)

- ・盛会に執り行われた旨報告された。
- ・大会収支決算について、事務局から報告があった。

4. 2018 年秋季シンポジウム (鹿児島大学、10/27)

- ・進捗状況が報告され、案内を「おあしす」28 巻 1 号に掲載されることが確認された。

5. 第 30 回学術大会・30 年記念式典

- ・渡邊副会長 (大会実行委員長) より、開催日を 2019 年 5 月 25 日 (土)～26 日 (日)、会場を東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂とすることが報告された。

6. 30 年記念事業推進委員会

- ・矢沢監事 (推進委員長) より、『(新) 沙漠の事典 (仮称)』の出版に向けた取り組みについて、出版社の選定や今後のスケジュール等の報告がなされた。
- ・記念誌の編纂について、9/3 に座談会を行うことが確認された。また「沙漠研究」Vol. 28-4 に掲載することとした。

7. IDC の現状／吉川会長

- ・日本側メンバーについて確認した。また国際会議に対する位置づけについて確認がなされた。

8. DTXIV の準備状況

- ・川端実行委員長より、開催予定日を 2020 年 9 月 7 日～9 月 11 日、会場を静岡県伊豆松崎町伊東園ホテルズとすることが報告された。
- ・9/14 に視察を行う。

9. HP の充実に向けた提案

- ・沙漠の事典の図版等の HP 掲載について順次進めて行く旨、島田総務担当理事より報告がなされた。

10. 学会を受け皿とした共同研究等の促進について

- ・検討中である。

11. 2018 年度学会賞受賞候補者推薦

- ・現時点で推薦がなく、より広く推薦を求める方策を検討したい旨、渡邊学会賞推薦委員より報告がなされた。分科会に推薦を依頼することとした。
- ・「おあしす」28 巻 1 号に推薦の依頼を掲載することが確認された。

12. みどりの学術賞推薦依頼

- ・内閣府より依頼が届いた旨の報告がされた。

Ⅲ. その他

- ・経団連自然保護協議会の助成金による活動報告が乾燥地分科会よりなされた。
- ・今後の学術大会・シンポジウムの日程と開催地の確認がされた。

- ・学会誌のバックナンバーについて、現在保管している東京農業大学では場所が逼迫しているため、過去号で多数在庫がある号や、J-STAGE 掲載されている号について、処分を行うことを確認した。また、PDF 形式で学会 HP に掲載されていない号の PDF 化に伴う検討を行うこととした。
- ・第 137 回理事会：10 月 27 日（土）（鹿児島大学）。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

正会員

- 石川 春樹（ID：1123, 国際熱帯農業研究所）
 永井 恵（ID：1125, 筑波大学医学医療系腎臓内科学）
 藤本 悠子（ID：1126, 片倉もところ記念沙漠文化財団）

●退会会員

正会員

- 片平 公男

***** 賛助会員・団体会員名簿 *****

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel：042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel：03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	164-8721	東京都中野区本町 1-32-2	Tel：03-5354-3621
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel：0424-95-1060
